

愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発事業成果報告

おるde新町
介護付有料老人ホーム

株式会社ベルワイド
おるde新町介護付き有料老人ホーム

おる d e 新町の概要

- ▶ 施設名 おる d e 新町介護付き有料老人ホーム
- ▶ 所在地：愛媛県八幡浜市新町272-1（新町商店街の中）
- ▶ 設立：平成18年1月
- ▶ 定員：43床（特定35床・ショートステイ8床）
- ▶ 事業概要
 - 介護付き有料老人ホーム
 - ショートステイ
 - デイサービス
 - 訪問介護
 - 居宅介護支援事業所



施設紹介

- ▶ 施設理念：よりよい環境をお客様に提供する
- ▶ 入居者平均年齢：91.5歳
- ▶ 入居者平均介護度：2.8
- ▶ 車椅子利用者：22名
- ▶ 移乗介助必要者：18名
- ▶ 入浴：リフト浴利用者：14名 特浴利用者：9名
- ▶ 施設職員数：26名 (男性7名・女性19名)
- ▶ 職員平均年齢：48.8歳

(R7.9月現在)

ノーリフティングケア普及啓発事業への 申請理由

- ▶ 移乗介助ができる職員が限定されており、腰痛等の身体的負担が増大していた。
- ▶ スライディングボードや介助シート等の福祉用具は導入していたが、入居者を抱える移乗が多かった。
- ▶ さまざまな勉強会を行い、職員のレベルアップに努めてきたが限界を感じていた。
- ▶ 他の施設との情報共有等の連携も乏しく、何からどのように取り組んでよいのか糸口がない状況であった。

施設の課題

▶ 職員間の介護力の差

移乗介助等の負担が大きい介助において、対応可能な職員が限られており、職員の負担が集中している。

▶ 福祉用具を導入しても負担軽減には限界がある

スライディングボード・介助シートなどの福祉用具は導入しているが、上手く使用できない。

▶ 新しい事を導入できる環境ではなかった

現在は職員同士で新たな問題に取り組める環境にあるが、以前は管理者の考えと現場の意見の相違があり、新しい事に取り組めていなかった。

取組内容

▶ ① 伴奏支援説明会参加・ノーリフティング委員会立ち上げ

- ・ 導入前アンケート実施
- ・ 必要書類の作成
- ・ 問題点、現在の課題の洗い出し
- ・ 施設目標「職員全員が福祉用具を使って移乗介助、ベット上の移動ができるようになる」

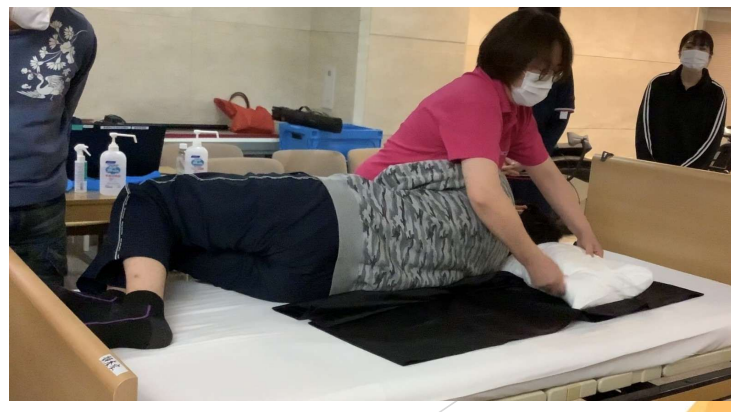
▶ ② アドバイス研修 特別養護老人ホームつわぶき荘訪問

- ・ 「知らない」事が多く、勉強不足を痛感。
- ・ 若い職員が活躍している。

取組内容

▶ ③個別研修 1回目

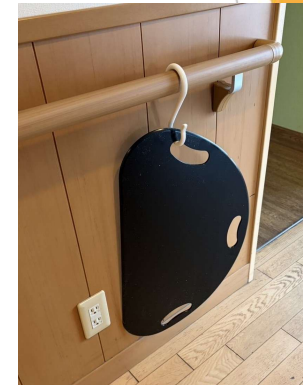
- 背抜き体験等、研修で学んだことを職員全員へ落とし込みを実施する。



取組内容

▶ ④個別研修 2回目

- ・24時間の姿勢管理が重要であることを理解する。
- ・バスタオルの常時使用を中止する。
- ・ベット柵・スライディングボードの保管場所を変更する。



▶ ⑤個別研修 3回目

- ・姿勢の整え方を学ぶ。



取組内容

▶ ⑥ 移座えもんシートの購入

- ・ ノーリフティング委員を中心に使用方法を習得し、その後、各職員へ落とし込み。
- ・ 実際に入居者への使用する。

▶ ⑦ ユニコムへの見学

- ・ ノーリフティング委員がユニコムへ見学。さまざまな福祉用具に触れ、知識のなさを実感する。



個別研修の成果

【1】



【以前のポジショニング】

全身に力が入っていた。



【ラウンド後のポジショニング】

圧抜き、ポジショニングの変更で力が抜けた

個別研修の成果

【2】



【以前の移乗の様子】

2人介助にて移乗していたが
負担が大きかった。

【車椅子の変更】

車椅子変更し1人で移乗介助できる
ようになり、座位保持も安定

【3】



【車椅子の変更】

シーティングにて座位保持安定
曲がりにくい膝が曲がるようになった。

アンケート結果 (R7年8月～R8年1月)

- ▶ ノーリフティングケア導入後の腰痛状況について(腰のツッパリ、倦怠感、重苦しさを含む)

		(導入前)	(導入後)
①	まったく痛まない	1人	2人
②	仕事中や就寝時間に腰が重い、腰が疲れやすい	6人	4人
③	以前、腰痛になったことがあるが、再発しておらず、治癒している	3人	3人
④	以前、腰痛になったことがあり、再発経験もしているが現在は治癒している	1人	2人
⑤	時々痛くなる	13人	11人
⑥	現在腰痛があり、常に痛い	2人	1人

- ▶ 業務において利用者の身体を持ち上げたり引きずったりする介助はあるか？

(導入前)

①	ほとんどがそう	11人
②	一部あり	12人
③	ほとんどない	1人
④	ない	1人

アンケート結果 (R7年8月～R8年1月)

- ▶ ノーリフティング導入後に、職員や利用者に変化はありましたか？ (3つまで回答可)

(導入後)

① 腰痛や肩こりが起こりにくくなった	5人
② 大きな力を出さなくても介助ができるようになった	15人
③ 介護事故が起こりにくくなった	1人
④ 気持ちに余裕を持って介助できるようになった	5人
⑤ どの職員が介助を行っても、同じ質の介助を提供できるようになった	0人
⑥ 利用者が安全で安心して移動できるようになった	10人
⑦ 利用者一人ひとりにあった福祉用具を使うことで、きめ細かい介助を行えるようになった	4人
⑧ 腰痛など(ストレス含む)による休業や転職や退職を考えなくなった	1人
⑨ 高齢になっても今の仕事を続けることができると思うようになった	2人
⑩ その他	0人

- ▶ ノーリフティングケアの研修で学んだことは、日常業務に反映できていますか？

(導入後)

① 内容を理解し、実践できるようになった	2人
② 内容を理解し、少しずつ実践できている	19人
③ 内容が理解できておらず、実践もできていない	0人
④ 内容は理解できているが、実践には至っていない	4人

今後に向けての目標・計画

▶ 今後に向けての目標

- ・ 予想以上に職員の士気が高く、この状態を維持し、ノーリフティングケアを継続していく。
- ・ 施設目標の「職員全員が福祉用具を使用して移乗介助、ベット上の移乗ができるようになる」を達成する。
- ・ 入居者が安心・安全な姿勢がとれるよう、姿勢についての理解を深める。

▶ 今後に向けての計画

- ・ 補助金制度を活用し、リフトやHUG等の福祉用具の導入を進めていく。
- ・ 月1回ノーリフティング委員会を開き、職員へのアンケートも実施しながら、PDCAサイクルを基に「抱える介護ゼロ」になるよう改善していく。
- ・ 移座えもんシートを職員全員が使用できるよう、委員会メンバー中心に指導していく。